

令和4年度 第2回日進市男女平等推進審議会議事要旨

日 時 令和4年7月26日（火）午後6時30分～7時20分  
 場 所 日進市役所 南庁舎2階 第5会議室及びオンライン  
 出席委員 中島美幸、可児康則、小倉祥子、丹羽元子、牧野泰介、原田義弘、  
 水谷有志、太田岬来、松本朋子、中尾猛（敬称略）  
 欠席委員 可児文菜、松岡成子（敬称略）  
 事務局 大鐘徹也（市民協働課長）、長原詠子（同課主幹）、  
 武田裕子（同課共生共同係長）  
 傍聴の可否 可  
 傍聴の有無 有（2名）  
 協議事項等  
 （1）日進市男女平等推進状況の報告について  
 （2）日進市パートナーシップ宣誓制度について

議事及び発言内容

発言者	内 容
	開会
事務局	開会を宣す
事務局	市民協働課長あいさつ
	傍聴者入場
会長	次第に沿って進行
	（1）日進市男女平等推進状況の報告について
事務局	資料を基に説明。
会長	説明に対して、質問や意見はないか。
委員	事前意見について、担当する課に投げかけ、修正については担当課の判断でされているのか。担当の課によって、書きぶりの熱量の差がある。たとえば、NO.4（保育士の人権意識の向上）だと活動をしていないわけではないがシンプルに「やった」「やる予定」のみの記載になっている。戦略的かもしれないが、研修をしたのが、内部でやったのか外部から講師を招いてやったのか、そういった文言も入った方がずっとよいと思う。
事務局	今いただいたご意見については、担当課に伝える。その中でどのような形になるかは担当課の判断となる。ヒヤリングや協議はしていく。確かに質問に対しての回答はボリュームがあった。
委員	質問に対する回答をもっと資料修正に反映できるのではないかと思う。
会長	担当課によって書きぶりが違うので、審議会で意見を言って充実させていくしかないかと思う。参加者の男女別人数や内容詳細を可能な限り記載するよう統一していくとよい。
事務局	資料を基に説明。

会長	NO.65(災害非常時のDVや性犯罪・性暴力等を許さない機運づくり)の避難所開設訓練に男女共同参画担当がビブスを着用するだけで、男女共同参画を意識してもらえるのであれば、もっといろいろな所でやっていくとよい。
副会長	いくつかのシートを見ると、分析評価の項目に分析評価ではなく事実のみが書かれている。例えばNO.52(リプロダクティブ・ヘルス/ライツの情報提供等)だと「募集をしたが、今年度は協働事業に手を挙げる大学はなかった。」と分析評価欄に書かれているが、これは事実であって分析や評価をしているわけではない。NO.68(DV相談等の実施と相談窓口情報提供)もDVの相談件数の減少についての分析を記載しておらず、実績と予定を記載している。NO.72(県女性相談センター等と協力したDV被害者の適切な一時保護)も同様。記述すべきことが徹底されていない。分析評価欄で分析評価をしていないシートが散見されるので、先につなげていくためには、わからない部分もあるとは思いますが、できるだけ分析評価を徹底していく必要があると思う。
会長	分析評価欄には評価・改善策案等と書いてあるので、改善策を書いたのかとも思うが、分析評価欄に改善策案等を書くことがしっくりきていないかもしれないので、書き方を検討していただきたい。
会長	このフォーマットは今年度から使用するのか。
事務局	そうである。
会長	これからブラッシュアップされていくと思うが、検討課題の一つとして考えていただきたい。 大変なことと思うが、審議会としても次年度につなげていくため疑問を呈した。記述の仕方など担当者皆さんで共有していただきたい。
	(2) 日進市パートナーシップ宣誓制度について
事務局	資料を基に説明。
会長	答申(案)をご覧ください、何かご意見などはあるか。
	特に意見なし
会長	それでは答申に移りたいと思う。
	答申
	その他について
事務局	・にっしんわいわいフェスティバル2022参加について ・性の多様性を理解する職員研修について
会長	男性保護者向けの「絵本ライブ!」ということだが、父親が集まったということか。内容はいかがだったのか。
委員	基本的には父と子が集まった。子どもと面白おかしく一緒に楽しめるような選書をし、いつもとは違った視点で絵本と関わってもらうことを知っていただければと思っている。
会長	わいわいフェスティバルに、市民の参加と同様にブースを出展したとのこ

	と。市民の方たちが主体的に運営しているということはすごくよいこと。
会長	他に意見・質問はないようなので、事務局へ進行をお返りする。
	閉会 （19：20）